市民に愛されるみちをつくろう！

《　碧南市　名鉄跡地緑地整備事業　》

「緑地と民地の境界の作り方、つなぎ方」意見交換会

プログラム

テーマ　境界部分の作り方・つなげ方を考える
日　時　2013 年 11 月 19 日（火）19:00－21:00
場　所　棚尾公民館　ホール
対　象　緑地に接してお住まいの方、土地や建物をお持ちの方
目　的　市民に愛されるみちづくりのため、住民の皆さんと境界の作り方、つなげ方を協議し、実施設計に反映する。

－　次第　－

1．はじめに（5 分）
・本日の目的と流れ

2．情報提供と質疑（25 分）
1）これまでの取り組み紹介
2）基本設計プランの確認
3）住民アンケートの結果報告
（質疑）

3．テーブル毎の意見交換「境界の作り方、つなげ方」（70 分）
・ご自身の該当する区間のテーブルに着席ください。
（1 区間あたり２テーブルで、合計４テーブルあります）
3-1）検討したい内容を確認します
3-2）名鉄跡地計画への期待と不安を分かち合う
3-3）遊歩道ができた後の暮らしをイメージしてみよう

4．意見共有（15 分）
・テーブル毎に意見交換の内容をご報告ください。

5．おわりに（5 分）
・全体の振り返り、アンケートのお願い、１２月以降の動きを紹介

以上

３．テーブル毎の意見交換「境界の作り方、つなげ方」　進め方の手引き

（全体で 70 分を予定しています）

3-1）検討したい内容を確認します（5 分程度）

・アンケート結果を踏まえて、本日検討したい論点について、コーディネーターから提示します。

＜アンケート結果より＞　　**＜本日の論点＞**

見通しの良い遊歩道整備、余裕のある所への樹木やベンチの配置などについて７割以上の賛同をいただきました　→　①利用者の立場で、名鉄跡地緑地に期待することを話し合いましょう

⇕ 利用面と生活面の両立を目指す

安全の確保、植栽の管理・清掃など、新たにみちができることついての「心配なこと」を出していただきました　→　②緑地沿いの生活者の立場で、解決策を話し合いましょう

3-2）名鉄跡地計画への期待と不安を分かち合う（30 分程度）

（１）跡地整備にあたり期待していることを黄色の付箋紙、不安に思うことを青色の付箋紙に書き出してください。（皆さんの意見を漏れないように記録することが目的です。ご協力ください）

（２）模造紙の上に、参加者全員の期待と不安を貼りだします。類似する意見は、まとめておいてください。

3-3）遊歩道ができた後の暮らしをイメージしてみよう（30 分程度）

（１）テーブルに集まっている皆さんが、どこの土地に関係する方なのかを確認します。

（２）歩道や緑地の整備が完了したと仮定して、皆さん、あるいはその土地に暮らし、働く方がどのように利用するかをイメージしてみましょう。

（例）犬の散歩やランニングで利用する
　　歩道沿いの草花育てにいそしむ
　　従業員が休憩する　等

（３）先に描いた利用イメージを踏まえて、それぞれの土地（民地）と緑地の境界の作り方を、以下の４つの視点からご検討下さい。また、思いついたアイディアは、なるべく紙面の中に描きこみ、記録が残るようにしてください。

４つの視点

あ）仕切り　…民地と緑地の仕切り方を考えます。
い）出入り　…出入り口の作り方について考えます。
う）なごみ　…ベンチをはじめとした休憩施設について考えます。
え）彩り　…植栽や樹木の配置について考えます。

3-4）まとめ（5 分程度）

・全体発表に向けて、自分達のテーブルの意見で特に伝えたい内容を整理します。

以上